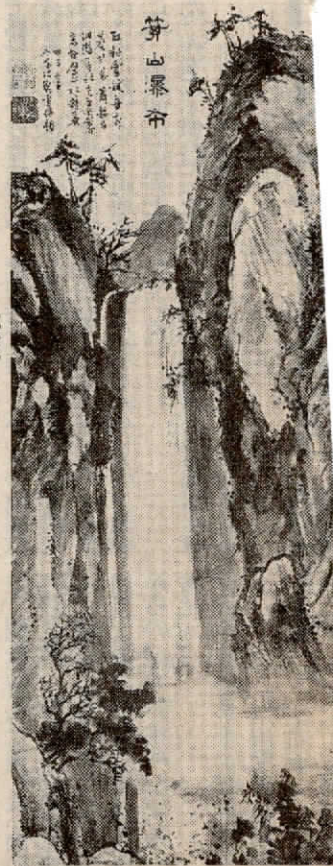


文化



茅山墨市

間四郎さん、龍頭文吉郎フ  
リチストン副社長、そして  
社員の人だった。

合唱団の持ち歌として

ブリチストン創業者の石  
橋正二郎が郷土の福岡県久  
留米市に石橋文化ホールを  
寄贈したのが六三年。その  
年に発足した久留米音協合  
唱団は発足五周年を迎えよ  
うとしていた。私たちは合

一九六八年(昭和四十三  
年)の六月だったと思う。  
四人の男が筑後川下流に浮  
かべたエツ舟に乗っててい  
た。エツはカタクチイワシ  
科の海魚で、夏になるとこ  
の川をさかのぼってくる。  
四人は船頭さんが料理した  
エツを前に、九州一の大河  
が秘める物語を、それぞれ  
に思い描いていた。  
四人というのは、作曲家  
の團伊玖磨さん、医師で久  
留米音協合唱団指揮者の本

時の石橋幹一郎社長に助力  
をお願いした。石橋社長は  
快く引き受けてくださり、  
作詞は久留米の医師で詩人  
の丸山豊さんに、作曲は社  
長の義兄の團さんに依頼す  
ることになったのだった。  
丸山さんから届いた詩  
『筑後川』は「みなかみ」  
「ダムにて」「銀の魚」「川  
の祭」「河口」の五章から  
なる、川に仮託した人々の  
営みと命への賛歌だった。  
團さんはエツ舟に乗り、流

域を歩いて曲想を練った。  
事務局役の私も、團さんの  
旅のお供をした。

に納得できるメロディーと  
ハーモニに到達するには  
時間が必要だったのだから  
う。神奈川県葉山町の自宅  
に何度も伺ったが、その

「筑後川」命の賛歌再び

◇初演から30年、團伊玖磨氏と作成したCDが完成◇

中野 政 則



年の秋に予定され  
ていた初演のコン  
サートは二度延期  
せざるを得なかつ  
た。楽譜の一部が  
届いたのが演奏会  
の十七日前。楽譜  
がそろったのは三  
日前だった。

六八年十二月二  
日  
「筑後川」初演を  
指揮する團氏  
(68年12月20日)



「は中学校の音楽の教科  
書に載り、全国の卒業式な  
どで歌われている。  
病後の指揮、涙あふれる  
その後、久留米から東京  
へと転勤になっていた私  
は、再び久留米工場勤務と  
なり、九八年に團さんと相

談して三十周年記念コンサ  
ートを企画した。コンサ  
ートは團さんにも特別の意味  
があった。前年の九月に心  
筋梗塞(こうそく)で倒れ、  
奇跡的に回復した團さんが  
初めて指揮するのがこのコ  
ンサートだったからだ。  
同年十二月十三日、同じ  
石橋文化ホールで團さんは  
指揮台に立った。演奏を無  
事終えて楽屋に戻った團さ  
んの目からは涙が流れてい  
た。「指揮台が狭く、落ち  
るかと思ったよ。これでま  
た三十年先が見えてきた」。  
團さんはそう言って私の手  
を握った。

この模様はNHKテレビ  
で放送された。すると全国  
のファンから「CDはない  
のか」という問い合わせが  
寄せられた。ところが、な  
ぜかCDは出していないか  
つた。「曲が有名になりすぎ  
て、逆にCDは出しにくか  
ったのかもしれないね」  
と團さんは言っていたが、  
ともかく團さんと私はCD  
作りに取りかかった。  
三十周年記念コンサートの  
演奏のほかに何を人れ  
るかで難航した。團さんは  
過去に自分が指揮した合唱  
曲のテープをいくつも聴い  
てみたが納得しない。困り

果てた私は、懐深くしまっ  
ていた「筑後川」初演の時  
のテープを取り出した。  
モノラルだが、初演開始  
を告げるアナウンス、丸山  
さんを紹介する團さんの  
声、会場と一緒に行った團  
さんの「花の街」まで、コ  
ンサートの一部始終が録音  
されていた。テープが終わ  
るところには團さんの両の目  
から熱いものが伝い落ち  
た。「これでいこう」。團  
さんの声は大きかった。

この曲の誕生から開花、  
成熟までを見つめて三十年  
余。少しでも多くの人にこ  
のCDを聴いていただくの  
が、一人残った私の使命だ  
と思う。完成したばかりの  
CDをささげ、團さんの遺  
影にそっと誓った。(なかの  
まさのり)元ブリチスト  
ン久留米工場総務課長

抄

今年六月九  
日、晴れて東京  
大学物理学科を  
卒業した。とい  
って実際の卒  
業は一九七一年六月。大学  
紛争のため式が見送られ、  
二十一世紀になった節目に  
大学側が三十年ぶりの幻  
の卒業式を開いて  
くれた。懐かしい顔  
が並んだ、と言いた  
いところだが、実は  
物理学科の二十人余  
りの中ほどは二重

連帯感

ただメンバーから  
見れば、私ほどユニ  
ークな人間はいない  
ぞうだ。学生時代も  
物理学に最も似つか